

例会委員会

INDEX

例会委員会	1~3
臼井先生連載	3
私の近況/スケジュール	4
会員異動/編集後記	4

元気に、大胆に、翔ぶ！ 女性経営者たち ——本年度の例会、華やかに進行中！

平成26年度月星会の活動は、早くも半年を過ぎました。今年度の活動で最も注目すべきは、例会委員会の卓話企画ではないでしょうか。

卓話に、今活躍する女性経営者を招くという企画。限られた時間では

ありますが、講師の話に「これからの日本は私たち女性経営者が支えていく」という気概を感じ、頼もしく思った人もいますことでしょう。

女性の活躍は、アベノミクスの成長戦略にも描かれている重要なテーマです。女性大臣登用では一悶着ありましたが、そんなことで萎んでしまうような軽いテーマではありません。

異業種の経営者が集まる月星会は発足以来、女性会員が多いという特徴があります。これは臼井日出男先生の人間的魅力に起因しているのでしょう。

月星会はもともと、「女性が輝く日本！」(アベノミクスのキャッチフレーズの一つ)の縮図なのです。

その月星会の例会卓話に女性経営者を招くという企画は、



6月例会
BBStoneデザイン心理学研究所
日比野 好恵様



7月例会
ボイスコーポレーション
阿部ひとみ様



8月例会 ヘアサロン銀座マツナガ
濱田有美子様

今日の時代に、かつ月星会に、ジャストフィットしている企画なのです。

高柳会長は、この例会企画にこう語っています。

「女性経営者を招くという企画は時代を反映していて、実にグッドだと思います。女性の感性はこれからの企業経営にとって、ますます重要になってくることは間違いないでしょう」

今年度の例会はまだ半分、新しい年になってもこの企画は続きます。今年度の例会にまだ出席されていない会員の皆様、ぜひ一度は顔を出されてみてはいかがでしょうか。

卓話になぜ女性経営者を選んだか

例会委員会委員長 尾形 文貴

私が例会卓話者になぜ女性経営者を選んだか？

昨今の長引くデフレ経済状況の中、男性経営者はかなり諦め切っているところがあり、先行きの不透明感を感じながらも企業経営をしていると思われます。

そんな男性経営者をしり目に、忙しく家事をこなしながらも妻であり母親でもある元気のよい女性経営者が、大勢いらっしやることに気がつきました。

女性ならではの従業員に対する細やかな気配りだったり、家計をやり繰りするよう、勤と度胸の経営ではなく科学的な計数管理を行ったりと、高い経営感覚を持たれた女性経営者が多いと思います。

そんな女性ならではの企業創業理念や経営方針、または日

本全土や世界を相手にビジネスを展開しようとする大胆な発想は、今の私には考えられず何と素晴らしい経営者だと思うようになったので、一年間これに没頭しようと思った次第です。



異例の副会長兼例会委員長

24年度&25年度会長、 女性経営者について一言語る！

● 24年度会長、宍倉龍子相談役

女性経営者が活躍するというのは、とてもいいことだと思います。男尊女卑の時代に育った私などは、女性は控えめという感覚がこびりついていますからね。

卓話でお話いただいた女性経営者には、そういう感覚はないと思います。だから経営者として活躍しようと思えば、いくらでも持てる力を発揮できるのではないのでしょうか。

女性の真面目さ、ひた向きさは、十分ビジネスの力になります。

ただ今回、私がお聴きした卓話は、これまでこう頑張ったんだよという話がちょっと多かったような気がします。頑張るのは、誰でも同じだと思います。もっと前向きなデカイ話も聴きたい気がします。

かく言う私自身はデカイ商売なんてできず、チマチマした小さな商売ばかりいろいろやってきましたが……。でも、チマチマした中でも、それぞれトップにならなきゃ気がすまないというスタンスでやってきました。まだまだ、これからも同じスタンスでやっていくと思います。何かに思いを馳せると眠れなくなるタイプですから。

● 25年度会長、産方恒好直前会長

卓話の講師を引き受けてくれた女性経営者たちは、家庭においては主婦であり、子育てもしていかなきゃならないという状況の中で、人並み外れた努力をしてきたのだと推測します。水面下の努力のすごさは、男性陣には想像できない面もあるに違いありません。

そうした中で結果を残してきた人たちですから、聴く価値は十分あると思います。もちろん、聞き手がそれをどう受け止めるかは個人によって異なりますが、何らかの形で役に立つ部分はあったのではないのでしょうか。

2代目の女性経営者が親のやり方を踏襲したらうまくいかず、まるっきりやり方を変えたら軌道に乗り始めたという話もありましたからね。

例会の卓話は短い時間ですから、講師の方はおそらく話足りないと思っているかもしれません。でも、短い話の中にも、輝く部分は必ずあります。まだ続きますから、期待してご参加いただきたいですね。

例会委員会報告

月星夕食例会 9月（9月25日（木）開催）

9月は果物の輸入、販売を行う有限会社ベルフーズ（千葉県美浜区）の代表取締役清水満代様を卓話講師にお招きしてお話を伺いました。

ベルフーズは、大田市場での卸売業のほか、台湾からの果実の輸入を専門に扱い、通信販売の商品企画から出荷作業までを行っており、台湾産アップルマンゴーやライチ、



有限会社 ベルフーズ
清水満代様

ワシントン州産レイニアチェリーなど特徴のある商品を多数取り扱っています。

清水様は、親会社であるカット野菜の製造工場を営む株式会社ベルフレッシュに経理のパートとして入社

後、その働きぶりが認められてベルフーズの社長として抜擢されました。お客様の喜ぶ笑顔のためにフルーツに情熱をかけ、海外の生産現地の確認や入荷後の選別などにも手間暇をかけ、社長自らがフォークリフトを操ってお仕事をされています。清水様の人柄の良さがにじみ出た卓話となりました。



9月のお誕生日

月星夕食例会 10月（10月23日（木）開催）

10月は月星会会員でもある波奈グループ早野商事のグループ会社となる株式会社デリシャス・ハーツ

（千葉県若葉区）の代表取締役・田口美恵子様を卓話講師にお迎えしました。デリシャス・ハーツは、落花生ようかんなどのお菓子の販売のほかに、イタリアンバル「ぶらっとりア」の運



株式会社 デリシャス・ハーツ
田口美恵子様



9月のお誕生日

営、そして機能性食品「すいおう」の販売などをされています。

デリシャス・ハーツがもっとも力を入れている「すいおう」は、サツマイモの葉を乾燥・粉末したもので、アンチエイジングや血糖値や血圧の上昇を抑制するとされています。当日はサンプルをいただき、そ



10月のお誕生日

の場で会員の皆様にも試飲していただきましたが、苦みが少なく抹茶のような味だと好評でした。

田口様の「早野商事に入社後、紆余曲折を経ながらも様々な人との“ご縁”で今の立場、仕事がある」とおっしゃっていた言葉に感慨深く感じました。

月星夕食例会 11月（11月27日（木）開催）

11月は株式会社イシド（千葉県白井市）の代表取締役・沼田紀代美様を卓話講師にお迎えし、お話を伺いました。

北海道出身の沼田様はご主人の転勤で千葉に来たのちに専業主婦からイシドの社員となったそうです。人から「ありがとう」と言われることに喜びを感じて働き続け、社長として抜

擢され毎日奮闘しているとのことでした。

イシドは1973年に石戸珠算学園を設立以来、独自のカリキュラムやノウハウで指導を行い、ピーク時の14分の1と衰退しているそろばん業界において、保護者のニーズに合わせて幼児期向けそろばん教室を多店舗展開している企業です。

珠算専門塾としては全国トップクラスの教室数を誇り、珠算日本一の生徒を数多く輩出しています。卓話の始めに珠算教室の様子を動画で見ましたが、数桁の掛け算を暗算でする子どもさんの様子に会員の方から感嘆の声が上がっていました。



株式会社 イシド
沼田紀代美様



11月のお誕生日

（例会委員会・永田洋子副委員長）

連載

うすい日出男の 〈こくせいふかん〉の目

● 国民の選択は決まった

電光石火の解散劇だった。その切れの良さは、安倍総理のそのものと言えた。

安倍総理が実行してきたいわゆる“アベノミクス”は我が国の持てる金融・財政力の全てと経済の成長戦略をつぎ込んで、正に乾坤一擲の不況脱出政策だが、永きに亘る不況に対する我が国民の挫折感は予想以上に根強く、未だに低迷からの脱出はなっていない。そこで国民に約束した通り、消費税の引き上げは29年1月まで延期せざるを得なかった。しかし如何なる野党といえども現在の経済状況を不況と断ずることは出来ないだろう。今回の解散の名分は、今後日本の活力の再生のために引き続きアベノミクスによって政策を継続していくことに対する国民の評価を問うもので、そのわかりやすさが与党の勝利の要因だった。

● 安倍総理に期待するもの

私はタカ派と言われる安倍総理が好きだし、私の肌合いに合う。私は中国の意向にお構いなく靖国神社に参拝する

安倍総理が好きだし、憲法改正も安倍総理でなければ改正に着手出来ないし、防衛力整備も、実際に第一線で働く自衛隊員が働きやすいような法改正も安倍総理でなければ為し得ないと考えている。

外交面でもこの2年間で50カ国を精力的に回ったその積極的な外交政策にも賛意を表する。ますます強大化する中国は軍力ばかりでなく強力な経済力を以て国際社会にその力を伸ばしている。その中国に対抗するためには、これまた強力な中国包囲網を作らねばならない。その一策としてロシアのプーチン大統領と結んでの中国牽制策にも賛意を表する。幸い一般会計税収も17年振りの高水準を得ており、今後の我が国の生存を占う子育て対策にも、防衛力強化にも予算を組むことが出来そうだ。我々日本人は資質が優れているから、安易に信用しない国民性があるが、日本の活力の再生とは、“日本人が元気を取り戻すこと”とイコールだ。必ず活力再生が成ることを信じて進むことが大切だ。



元衆議院議員 白井日出男

私の近況 茂手木直忠さんの巻

相変わらず健康診断に追われている毎日で、議会等、出席が不可欠な日程以外は巡回検診の医師として会社の経費削減にまい進しております。



以前に比べ、マラソン等の体力消耗が激しく、手抜きが多くなり結果が心配です。

市政については、スポーツ施設の充実として千葉市のスポーツ大会が開催される水泳場、体育館、武道館等の建て替えを、東京オリンピックを目的に強く働きかけていきたいと思ひますし、両私立病院の運営で、気になるのは海浜病院での整形外科再配置であり至急取り組まなければならない課題だと思っています。

(稲毛区選出 千葉市議会議員)

私の近況 川村博章さんの巻

議会では現在、自由民主党千葉市議会議員団の幹事長と議会運営委員長を務めております。



ちょうど今月は平成27年度から3カ年にわたる第2次実施計画をまとめ、平成27年度千葉市予算案を仕上げる時で市当局と様々な事業について、最終的な詰めを行うこととなります。

千葉市はこれから急速に高齢化が進みますので、これを支える税収の確保のため、企業誘致など地域経済を活性化させる施策の充実が何よりも必要だと思ひます。

アベノミクスの効果が千葉市にも普及していくよう全力を尽くして行こうと思ひますので、本年もご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(花見川区選出 千葉市議会議員)

会員異動 社名変更

木下 英之氏

旧社名：(有)石の三徳 → 新社名：(有)サントク

退会

土岐 四郎氏 学校法人土岐学園

私の近況 向後保雄さんの巻

「花の都ちば」はどこに行った？

千葉市が「花の都ちば」を標榜したのは、松井元市長の時から動き始め、実際には鶴岡元市長の時からですが、千葉駅前のトピアリーから花は消え、熊谷市長になってからは、残念ながら科学の都へと移行しております。



しかし、せっかく根付いた「花の都ちば」を継続したいとの思いで、6年前から私が会長を務める新宿2丁目子ども会で、子どもたちが新宿公園に水仙を植える活動をしており、今年も実施いたしました。その業績が認められ、昨年「千葉市を美しくする会」より表彰されました。これからも地道に続けていこうと思ひます。

一方、熊谷市長が誕生した1年後の今から7年前に、4年に一度開催されている「水仙の世界大会」を千葉市に誘致しようとの思いで、英国王立園芸協会認定の水仙の品種登録員である家内を通訳として連れて、アイルランドのベルファストで開かれた世界大会を視察に行きました。その後、次々回の開催を日本の千葉市でどうかとの打診がありましたが、オンブズマンから政務調査報告書の視察報告の支出について、家内との同行に疑義があるとのクレームがあったため、千葉市には国際大会を誘致できる文化的土壌がないと感じ、誠に残念でしたが誘致を断念いたしました。それに比べ、佐倉市は市長を交えた誘致懇談会を発足し、2011年にアジア初の国際薔薇会議の誘致に成功しました。民間活力を活用し、花のあふれる街づくりを推進すべきですが、市長の考え次第で市の方向は決まります。市長には、花のあふれる千葉市を目指して事業展開して欲しいものです。花の文化の醸成が必要ではないでしょうか？(中央区選出 千葉市議会議員)

1月～3月のスケジュール

1/7(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
1/24(土)	新春の集い	18:00受付 18:30開会	会場：ホテルグリーンタワー 3Fメイフェア 参加費：会員5,000円 ビジター 6,000円
2/4(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
2/26(木)	夕食例会	18:30開会	参加費 会員3,000円 ビジター 4,000円 館割煮みどり
3/4(水)	役員会	18:30開会	ホテル菜の花
3/26(木)	夕食例会	18:30開会	参加費 会員3,000円 ビジター 4,000円 館割煮みどり

編集後記

広報委員会・会報編集会議の一コマ。「今年は、県議など地方議員がへんな形でクローズアップされたね」「号泣県議とか」「そうそう。何やっているかわからないね」「月星会にも県議や市議員がいるけど、実はどういう活動しているのか、あまり情報ないなあ」「じゃあ、4面の『私の近況』に揃って登場してもらおうか」「正一県議と小川市議は、すでにご登場いただいているからいいか」「そうね、この前の小川市義の近況報告はよかったと思う」「原稿の量が多くて、字が小さくなっちゃったけどね」「ぎっと、みんなちゃんと仕事をしているんだよ。ほかの議員さんにも、ぜひ会報で報告してもらおう！」……と、こんな話から、今号の4面企画が決まった次第です。月星会の県議も市義も、号泣県議と違ってしっかり仕事をしています。ご安心ください。(内藤)